

令和8年度 第2回 三方原小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年8月6日（木） 午前9時00分から午前10時40分まで
- 2 開催場所 三方原小学校 南校舎3階 会議室、他
- 3 出席委員 鈴木 康示、片桐 富康、内山 哲司、川越 正一、松本 順二、
夏目 悦子、辻村 茂美、倉島 武次
- 4 欠席委員 溝口 真紀、磯貝 将大
- 5 オブザーバー 澤木 克彦（三方原協働センター所長）
- 6 学 校 伊藤 孝明（校長）、大石 智香子（教頭）、竹内 由里子（主幹教諭）
清水 太基（CS担当教職員）、藤原 明子（CSディレクター）
三方原小学校教職員 32名
- 7 教育委員会 横井 靖二（学校・地域連携課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 藤原 明子
- 10 開催要件の確認

司会から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

11 議長の選出

議長の選出について、事前に鈴木委員から川越委員を推挙する旨の報告があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）学校評価について
- （2）2学期以降の教育活動について（分科会）

13 会議記録

（1）学校評価について

議長の指示により、主幹教諭から、別紙資料に基づき学校評価について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・肯定率が低い項目については、スマホ・AI時代の現れ。子供たちもAIを活用し、答えをすぐ求める時代になっているように思う。（松本委員）
- ・昔に比べ、対面で話すことが減っていると感じる。今は画面越しの仮想の時代。それを軽減できるのが学校と地域だと思う。子供たちが対面で人と接する機会が増えると思う。（鈴木委員）
- ・地域との関わりも大事。学校と地域が連携し、これからどんな教育活動ができるか考えたい。（川越委員）

（2）2学期以降の教育活動について（分科会）

<Aグループ> 内山委員・川越委員・教職員10名

○地域と学校の関わりのある行事について

- ・じゃがいもの学びは地域の農業、産業の実体験ができる貴重な機会だと思う。
- ・三方原音頭を学校でも取り組むことはこれからの地域づくりにおいて大事な活動だと思う。

・朝の挨拶はコミュニケーションの基本。元気にできていると思う。これからも地域での関わりを続けていきたいと思う。

○落ち着いて学校生活を送ることについて

・廊下で遊んだり運動場のルールを守れていなかったり、登下校のけがもある。時計を見て生活していない様子もある。ルールを守り、先を見通す力を養うことができるよう、学校地域が同じ意識をもって声をかけていく必要があると思う。子供たち同士でも声かけできるようになるとよいと思う。

○自分の考えを伝える力を養うことについて

・自分の考えを話す機会が少なく、人との関わりが薄い。気持ちを相手に伝えることが不安な子もいる。言葉ではなく手がでる子もいる。どんな子の話も最後までじっくり聞くことができる姿勢を育てていくことが大切。授業や地域との関わりの中で、話をする機会を意図的に増やしていけるとよいと思う。

<B グループ> 鈴木委員・夏目委員・倉島委員・教職員 11 名

○学校評価について

・学校のきまり、周りを見て行動する、施設の使い方、聞き方を大切に、理解力の向上、自分の考えを整理できること等をこれからの課題にし、学校評価の肯定率が向上するよう考えていきたいと思う。

○ボランティア募集を地域の回覧板を活用することについて

・昼休み、校庭の遊具でのケガが多いため、昼休みの見守りボランティアを増員していただけたらと思う。家庭科や図工等でのボランティアについても具体的な話ができればよいと思う。

○働き方改革について

・他業種も大変なこともあるが、昨今言われている教員不足が加速しないよう地域としても支えていけたらと思う。

○体験活動について

・協働センターでも講座活動をしている。地域でも縁日やもちつき等イベント活動をしている。学校では遊具の使い方や、おもしろさを伝えながらリアルな体験ができるよう、地域と連携し、考えることができたらと思う。

<C グループ> 片桐委員・松本委員・辻村委員・教職員 11 名

○自分の考えを伝える力の取組みについて

・地域との関わりができ、自分の考えを言葉で周りに伝えることができる子供に育ててほしいと思う。

○子供たちの様子について

・挨拶は高学年になるにつれできなくなっていくように思う。遊ぶ場所についても三方原の地域は公園が少なく、子供たちは家以外の居場所が少ない。地域でも何かできることはないかと思っている。夏休み、三方原音頭を地域で練習した時、ホールを走り思い切り体を動かしている子もいる。

○その他

- ・ まちなか探検の企業の紹介について及び、防災についての話があった。

＜分科会後の協議＞

- ・ 部活がなくなり、他学年との交流の場が少なくなっていると思う。高学年の子が低学年の子に教える機会がもっとあるとよいと思う。(辻村委員)
- ・ 現在、年度初めの1年生と6年生との交流や縦割り遊び、体力テスト計測等での交流もあるが、今後取り組みを考えていけたらと思う。(主幹教諭)
- ・ 6年生も面倒をみている様子を見かける時がある。(川越委員)
- ・ 部活も高学年は学童もなく、夏休みは家でゲームをする時間が多いのではないかと
思う。学校開放はいろいろ難しい面もあると思うが、地域のボランティア等でも何か
できないか考えていきたいと思う。(夏目委員)

・ その他報告及び連絡事項等

第3回を9月30日(水)午後1時30分から午後2時30分まで、第4回を令和9年
2月10日(水)午後1時30分から午後3時00分まで、と連絡があった。